

各 位

2024 年 2 月 20 日

SBI トレーサビリティ株式会社

宮城県指定伝統的工芸品「玉虫塗」総本舗 東北工芸製作所
ブロックチェーンとIoT（NFC タグ）の技術融合サービスを導入

伝統に裏打ちされた確かな技術、脈々と受け継がれてきたベンチャー精神でさらなる革新を目指す

SBIトレーサビリティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：輪島 智仁、以下「当社」）は、ブロックチェーンとIoT（NFCタグ）の技術融合により現物資産とデジタル情報の強固な紐付けを可能とするトレーサビリティ・サービス「SHIMENAWA（しめなわ）」（以下「SHIMENAWA（しめなわ）」）が有限会社東北工芸製作所（本社：宮城県仙台市、代表取締役：佐浦 康洋、以下「東北工芸製作所」）で導入されたことをお知らせいたします。

東北工芸製作所へは当社提携先の株式会社仙台銀行（本店：宮城県仙台市、頭取：鈴木 隆）により取引先企業の本業支援一環として、当社の「SHIMENAWA（しめなわ）」が紹介されました。



宮城県指定伝統的工芸品「玉虫塗」の製作を行っている唯一の工房 東北工芸製作所

宮城県指定伝統的工芸品「玉虫塗」は、仙台に設立された国立工芸指導所で発明された特許技法です。

国立工芸指導所とは、1928年に商工省（現在の経済産業省）が現在の仙台市宮城野区五輪に設立した日本で初めての工芸デザイン指導機関です。日本の工芸技術の科学化、産業化、そして輸出振興を目的とし、日本の工芸デザインの基盤を作りました。

国立工芸指導所で誕生した玉虫塗を、仙台を代表する工芸品に育てたのは、現・東北工芸製作所の初代社長、佐浦元次郎です。東北工芸製作所は、国立工芸指導所と東北帝国大学（現在の東北大

学)の支援を受けて、1933年に設立されました。

戦後、元次郎は進駐軍の家族向けに、当時はまだ珍しかったコーヒークップやサラダボールなどの洋食器を次々と製作し営業。モダンで艶やかな玉虫塗はたちまち話題となり、マッカーサー元帥夫人をはじめ、たくさんの外国人が店に訪れるようになりました。その後も、国内向けに身近な暮らしの道具を数多く販売し、一般家庭でも広く用いられるようになりました。

「玉虫塗」は、艶やかに照り返す発色と光沢が特徴で、光の加減で色合いが微妙に変わる、その豊かな色調がタマムシの羽根に似ていることからこの名が付けられました。銀粉やアルミニウム粉を撒き、その上から「染料」を加えた透明な塗料を塗り上げるという独特の技法で、これまでの漆器にはない、鮮やかな色と輝きを生み出しています。

東北工芸製作所は、1939年に玉虫塗の特許実施権を得て、国内・海外向けに多くの商品を製作してきました。1985年には宮城県の伝統的工芸品の指定を受け、現在は献上品、記念品などでも多数注文をいただき、仙台の特産品として親しまれています。伝統的な品々を作る一方、現代のライフスタイルに合うさまざまな新商品の開発も続けています。

そして現在も「見る工芸から使う工芸へ」という工芸指導所の理念に基づき、さらに玉虫塗の可能性を広げるため、産業技術総合研究所 東北センター（玉虫塗を生んだ国立工芸指導所の後身機関）と共同で、はがれにくくしたり硬度を上げたりする新しい玉虫塗を開発し、ガラスや磁器などへの塗装の研究も行っています。

一方で近年、同じ伝統的な匠の技で卓越したアイテムを創出しているLVMH モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトンなどのラグジュアリーブランドでは、次の時代に向けてブロックチェーンなどのWeb3（ウェブ・スリー）技術を活用したブランド保護や、ファンとブランドの新しいつながり方の構築を進めています。

東北工芸製作所はこの世界的な潮流に乗り、ラグジュアリーブランドが活用している同種技術の「SHIMENAWA（しめなわ）」を導入し、伝統に裏打ちされた確かな技術、脈々と受け継がれてきたベンチャー精神が浸透している東北工芸製作所だからこそできる、新しくて親しみやすい商品をお届けしていきたいと考えています。



宮城県指定伝統的工芸品「玉虫塗」ワインカップ ナノコンポジットにセットされた「SHIMENAWA（しめなわ）」イメージ

初めて導入される「ワインカップ ナノコンポジット」では、商品開封後、一部の購入者には「玉虫塗 蒔絵体験」（特別な体験）に無料で招待される仕掛けがセットされています。



なお「SHIMENAWA（しめなわ）」には、大切な伝統的工芸品のブランドを保護する以下3つの基本機能のほか、2023年12月には商品を購入し、開封させた人にだけ特別な画面が表示され、限定サイトへの誘導やNFTを受け取れる機能が実装されました。これによりNFTを中心としたWeb3事業を営むSBINFT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高 長徳、以下「SBINFT」）が提供する総合NFT運営支援サービス「SBINFT Mits」を活用し、現物資産と強固に紐付けたNFTによる顧客ロイヤリティ向上などの取組みを進めることも可能となっています。

① 真贋証明機能

商品（現物資産）ひとつ一つにセットされるNFCタグに記録されている固有IDと、ブロックチェーン上に改ざんができない状態で記録される“いつ”、“どこで”、“誰が製造した商品”かのデジタル情報が強固に紐付けされることで、その伝統的工芸品の製造元をしっかりと証明します。

② 開封検知機能

購入した商品が未開封の本物、正規品であることの証明と、“いま、自分が開けた瞬間”をエンターテインメントのような仕掛けで地図上に記録することで新たな体験価値を受け取ることができます。また、この機能では、その商品が“いつごろ”、“どこで”、“開けられた（消費された）”などのデータも取得することができ、製造元・販売元はインテリジェンスな経営にそれらデータを活用できます。

③ 正規品管理機能（出荷先情報の紐付け）

製造元でNFCタグにより商品ひとつ一つに付された固有IDに出荷先情報を紐付けし、データベースで管理することができます。これにより不正な横流しの抑止効果が働くと共に、不正に横流しされた商品の出どころの傾向を把握し、販売チャネル管理に活かすこともできます。

※1 「ブロックチェーン」とは、電子署名とハッシュポインタという耐改ざん性のあるデータ構造を利用し、データの変更履歴をネットワーク上で共有することで、価値の保存を可能とした技術をいい、物理的資産の真正性や品質証明を取引者間で行うことで、信頼性の高いエンド・ツー・エンドのトレーサビリティの実現を可能とします。

※2 「NFC タグ」とは、物理的資産に固有 ID を付すことができ、かつ、ブロックチェーンに記録されたその資産にかかる重要な情報と強固に紐付けする際に機能する HF 帯（近距離無線通信）の NFC（Near field communication）タグ技術で、クレジットカードやマイナンバーカードなどでも使用されています。

※3 「NFT」とは、Non-fungible token の頭文字をとった略称で、和訳では「非代替性トークン」と呼ばれ、ブロックチェーン上に記録される一意で代替不可能なデータ単位をいいます。NFT を活用することで、特定のデジタル資産や現物資産、およびその資産を特定目的で使用するためのライセンスや権利などに関連づけることができます。

※4 「SBINFT Mits」とは、NFT 発行者とホルダーの良好かつ持続的な関係を構築するために必要な様々なツールを統合した、総合 NFT 運営支援サービスです。「SBINFT Mits」を導入することで、NFT 発行からコミュニティ形成、運営に至るまでの必要な支援を受けながらファンとダイレクトな関係性を構築し、Web3 に関する知見がない場合でも NFT プロジェクトを開始して、容易に NFT を活用したマーケティングを行うことができます。SBINFT が運営しています。

サイト URL：<https://sbinft-mits.com/top>

※5 「SHIMENAWA(しめなわ)」では、株式会社 Uni Tag（本社：東京都中央区、代表取締役社長：半野 巧也）と共同開発したロゴ入り専用 NFC タグを採用しています。

【会社概要】

■ 有限会社東北工芸製作所について

所在地	宮城県仙台市青葉区上杉 3-3-20-1F
代表者	代表取締役 佐浦 康洋
事業概要	宮城県指定伝統的工芸品「玉虫塗」の製造・販売
URL	http://www.t-kogei.co.jp/

◆ TOUCH CLASSIC

「玉虫塗」の特長は、あでやかな光沢と華やかな色調。伝統的な漆器にとどまらず、さまざまな日用品にその技法を応用することで、伝統工芸の可能性を広げ、使う人の日常を華やかに彩りたいと考えています。そこで「TOUCH CLASSIC」というコンセプトを掲げ、ただ飾るのではなく、生活の中で自然に触れ、味わい、楽しむことができる新シリーズを、東日本大震災後の2012年より展開しています。

グラスやボウルなどのテーブルウェア及び、ステーションナリー、インテリアなど、毎日のように手に触れ、使用するプロダクトを発表しています。

「TOUCH CLASSIC」は玉虫塗の可能性を広げるとともに、使う人の日常を華やかに彩ります。

東北工芸製作所は、「TOUCH CLASSIC」ブランドを通して、東日本大震災の被災地域の持続的な復興・振興を促し、地方から世界に通用する産業振興のモデルケースとなりたいと願っております。



- 公式ウェブサイト：<http://touchclassic.jp>
- オンラインショップ（STORES.jp）：<https://touchclassic.stores.jp>
- Facebookページ：<https://www.facebook.com/touchclassic>

名称	SBI トレーサビリティ株式会社
ロゴ	
所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー
代表者	代表取締役 輪島 智仁
事業内容	ブロックチェーンを活用したトレーサビリティ・サービスの提供など
URL	https://www.sbitraceability.co.jp/

名称	株式会社 Uni Tag
ロゴ	
所在地	東京都中央区日本橋本町 4 丁目 11 番 2 号 (KISCO 株式会社 東京本社内)
代表者	代表取締役社長 半野 巧也
事業内容	RFID の設計・開発・製造・販売及び技術サービスを含めたコンサルティング
URL	https://www.unitag.co.jp/

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI トレーサビリティ株式会社 contact-ta@sbigroup.co.jp